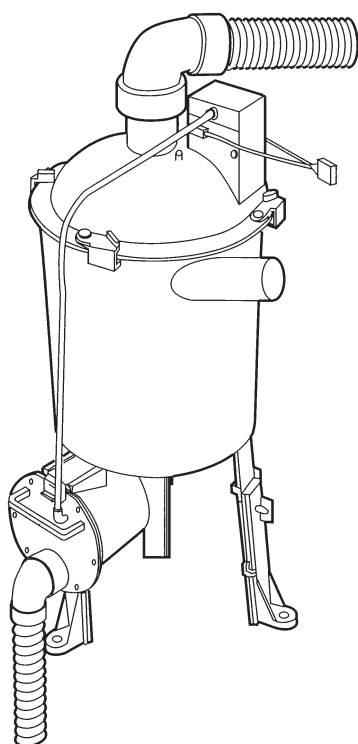


自動排水分離器

取扱説明書

安全にお使いいただくために必ずお読みください。



目次

1. 注意事項	2
2. 概要	3
3. 各部名称	4
4. 保守点検	6
4-1. 金網の清掃方法	6
4-2. 本体内の清掃方法	7
5. 補圧タンクの交換方法および清掃	9
6. 「故障かな?」と思った時は	14
6-1. サクションの吸引が弱い時	14
6-2. サクションが吸引しない時	14
7. 日常の手入れの仕方	16
8. 消耗品	16
9. アフターサービス	16

この製品は抗菌材を使用しています。

このたびは、『自動排水分離器』をご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

- ご使用になる前に、この取扱説明書の ⚠注意をよくお読みいただき正しくご使用ください。
- この取扱説明書は、いつでも使用できるよう大切に保管し、わからない時は再読してください。

正しく使って効率アップ

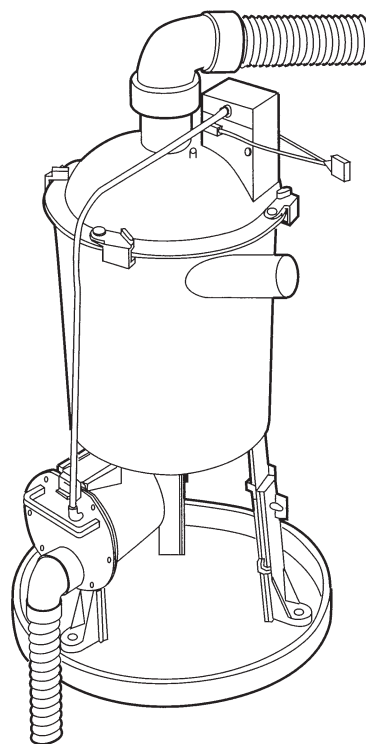
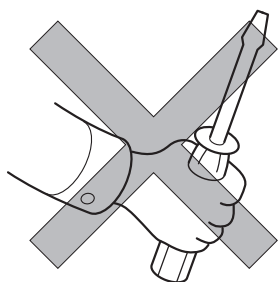
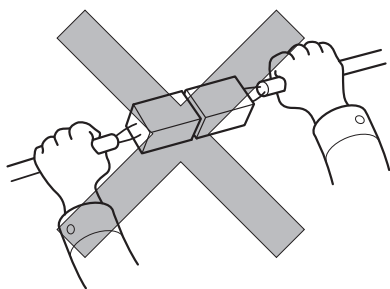
1. 注意事項

⚠ 注意

- 自動排水分離器は、当社サクシヨンブロワ専用の分離器のため、他社製品との併用、および歯科用以外の使用は、絶対に避ける。
- 配管の洗浄は、当社「サクシヨンクリーナー」および「サクシヨンリンス」を使用する。泡の発生するクリーナーはブロワの故障の原因となるので、絶対に使用しない。
- 分離器本体の清掃や、補圧タンクの交換時には、歯科医師および衛生士の感染防止のために、グローブを必ず着用する。
- 有機溶剤、火気類は、絶対に吸引させない。
- 点検・清掃の際には、必ず電源を切ってから行なう。
AC 単相 100V……分離器用補助盤の電源プラグをコンセントから取り外す。(補助盤設置の場合)
AC 3相 200V……モータブレーカのスイッチを切る。

☆下記の原因により生じた故障・損傷につきましては、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- ①当社または当社の指定した業者以外による据付・移設・改造・保守および修理
- ②当社が納入した製品以外の他社製品が原因で、当社の製品が受けた故障・損傷
- ③当社指定の純正部品以外の補修部品の使用による改造・保守・修理
- ④この取扱説明書に記載されている注意事項や操作方法を守らなかった場合
- ⑤この取扱説明書に記載されている電源・設置環境など、本装置の使用条件を逸脱した周囲条件による場合
- ⑥火災・天災（地震・水害・落雷等）の場合



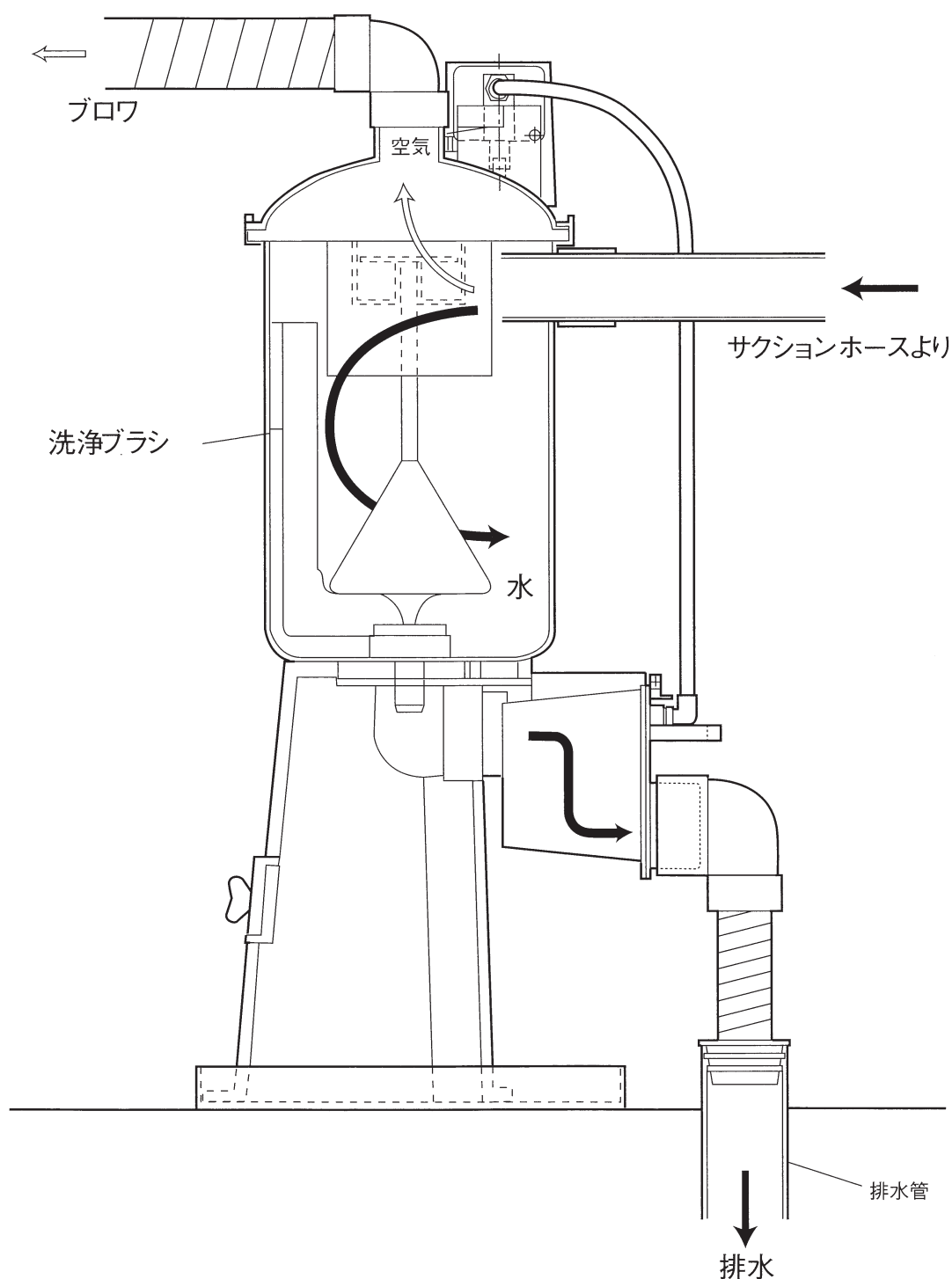
⚠ 注意

- ドライバーおよび工具等を使用しての「分解」は絶対にしない。

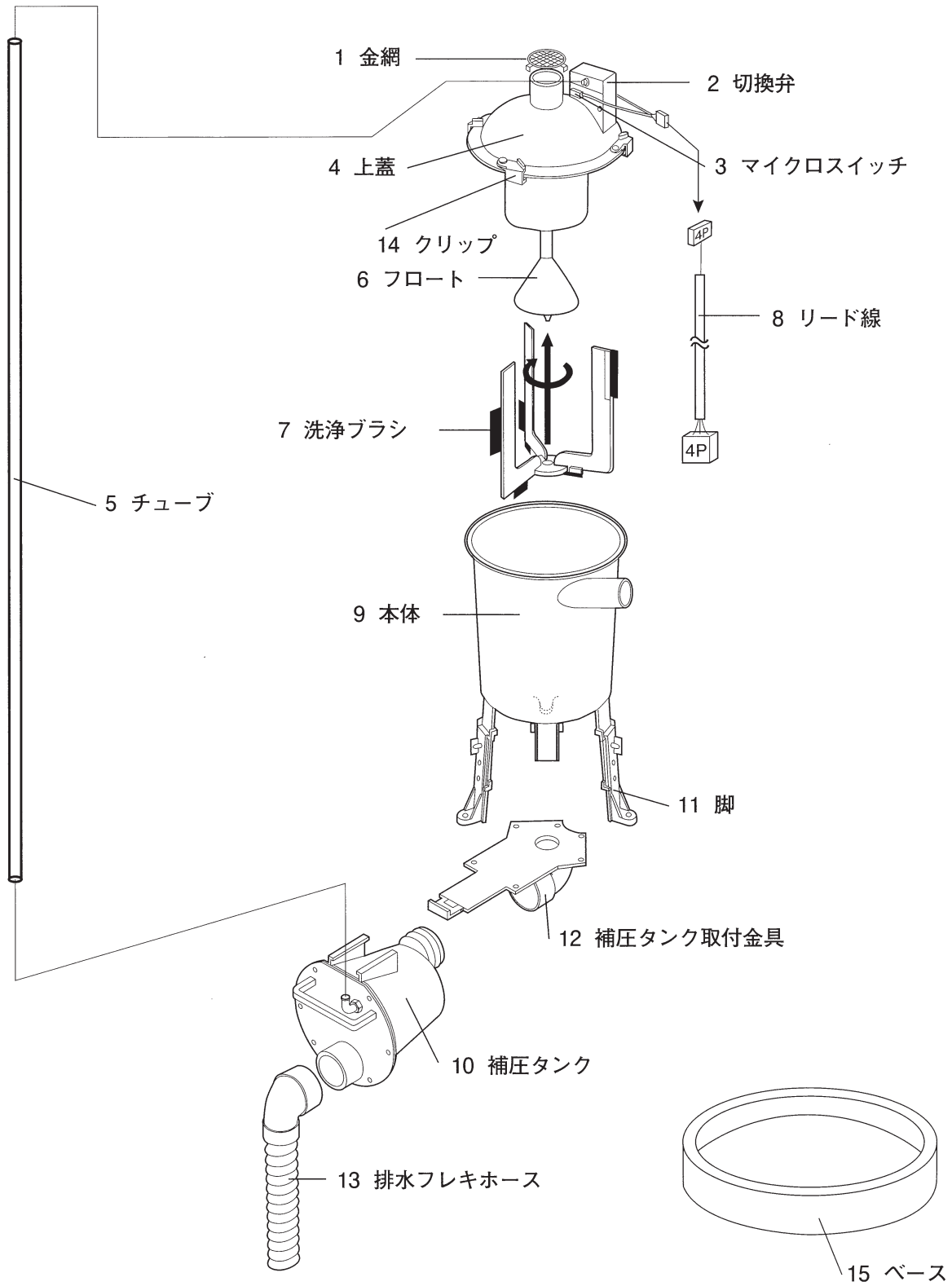
2. 概要

本分離器は、分離器内に水を溜めず、補圧タンクによって常に排水している機構になっています。自動洗浄機能により、リターンボックス（別売品）が作動しますと、分離器内の洗浄ブラシが回転し、分離器内の洗浄が自動的に行なわれます。

分離器内の水と空気の流れ



3. 各部名称



	名 称	備 考
1	金網	
2	切換弁	
3	マイクロスイッチ	
4	上蓋	
5	チューブ	外径φ8×φ6
6	フロート	
7	洗浄ブラシ	消耗品
8	リード線	2m
9	本体	
10	補圧タンク	(予備1) 消耗品
11	脚 (ナイロン製蝶ボルト、M5W、M5SW、 ユリア化粧ナット、ナベM6×12ネジ、 M6W)各3	
12	補圧タンク取付金具	
13	排水フレキホース (灰色)	排水用 内径φ32 (予備1) 消耗品(VUDL50×40付き)
14	クリップ	
15	ベース	

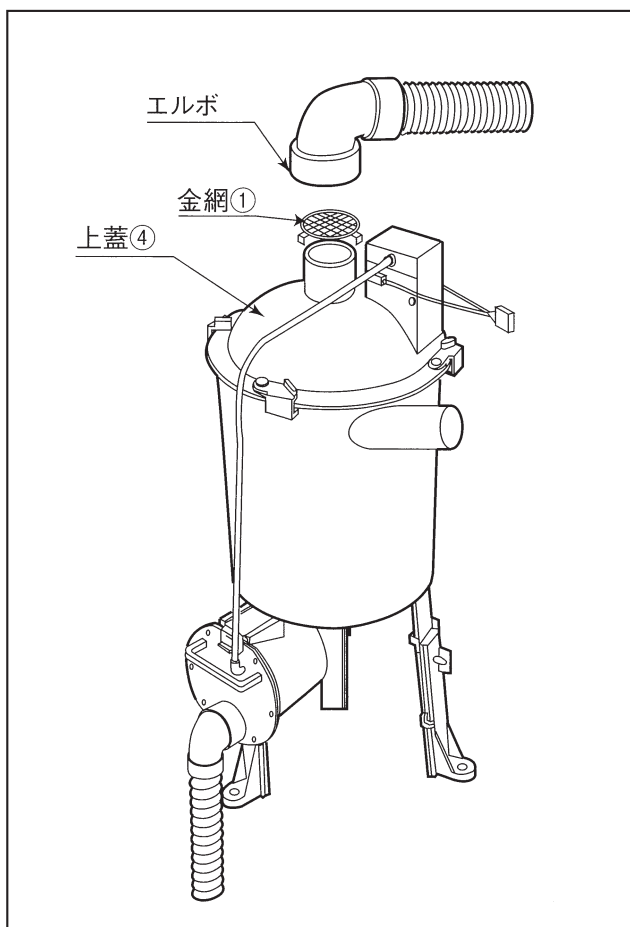
4. 保守点検

〈点検・清掃の方法〉

ヘッドロのつまり等により、機能を十分に発揮できなくなることがありますので、1ヶ月に1度の定期点検・清掃をおすすめいたします。

⚠ 注意

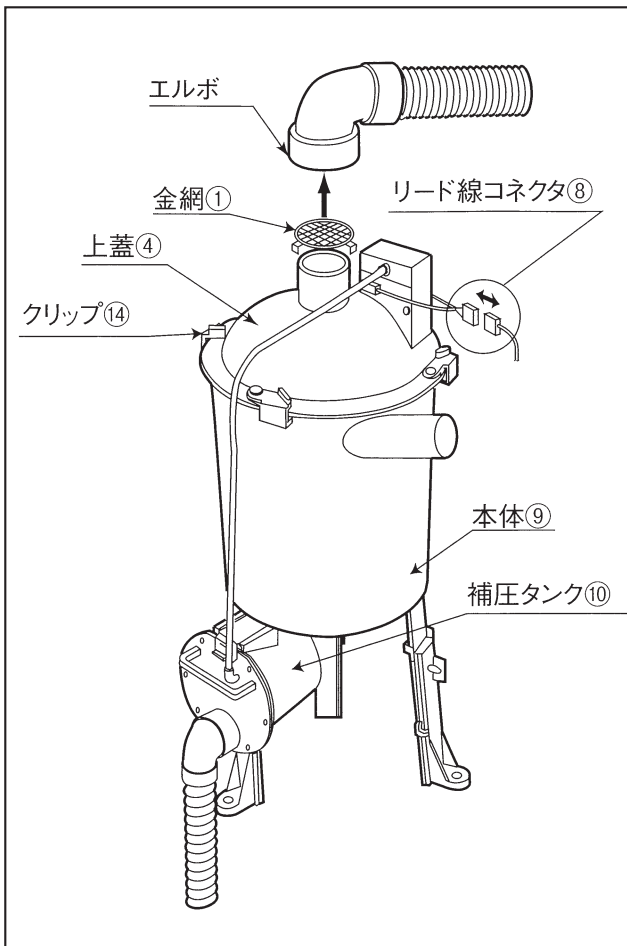
- 必ずブロワの電源（ブレーカ）を切る。
- 必ずブロワが止まったのを確認。
- 当社操作盤、またはブロワの電源ランプが消えているのを確認。
- 分離器および補圧タンク内の水が排水されたことを確認。
- グローブを必ず着用。



4-1. 金網の清掃方法

エルボを外して、金網①を清掃します。
(金網①が目詰まりしますと、吸引が弱くなります。)

- 必ずモータが止まったのを確認。

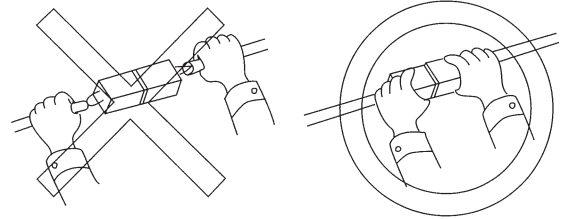


4-2. 本体内の清掃方法

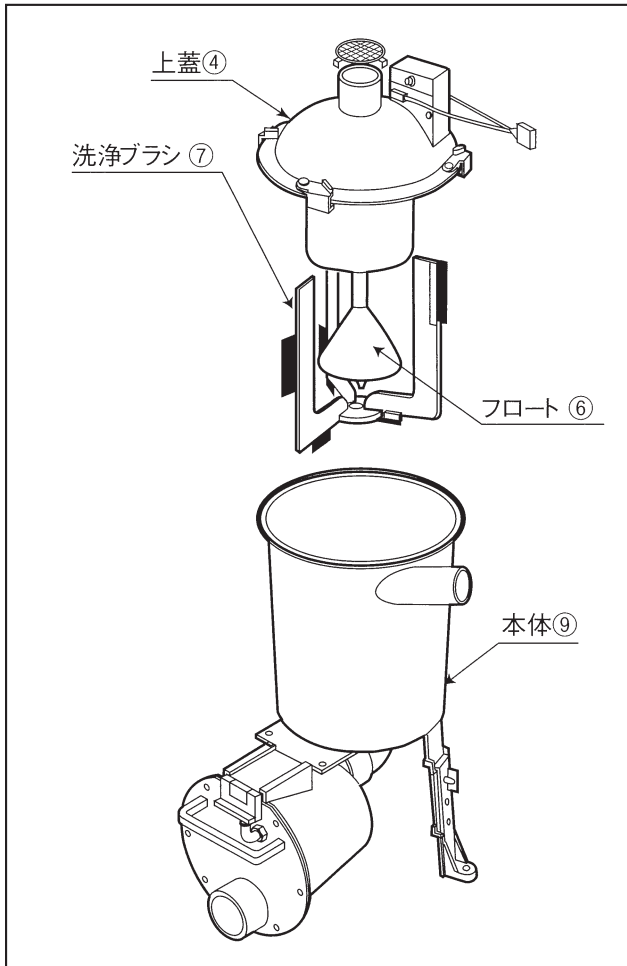
エルボ、リード線コネクタ⑧、チューブ⑤を外します。

⚠ 注意

- リード線を外すときはコネクタを持つ。



クリップ⑭（4ヶ所）を外し、上蓋④を外します。



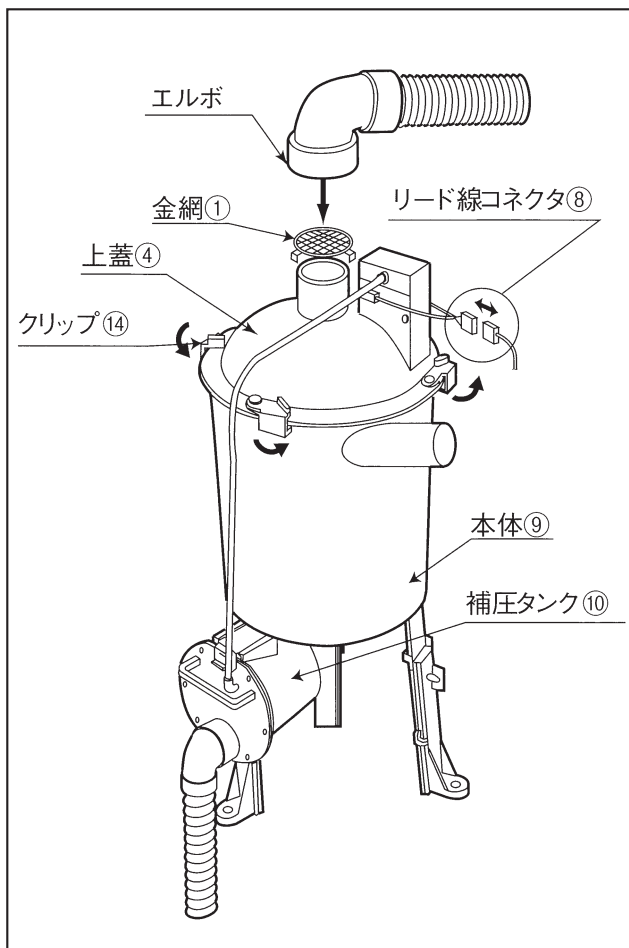
⚠ 注意

- 補圧タンク⑩を取付けたまま清掃。
- フロートを曲げない。

本体内面を水または当社のサクシオンクリーナーで清掃します。

⚠ 注意

- 水漏れのないことを確認。



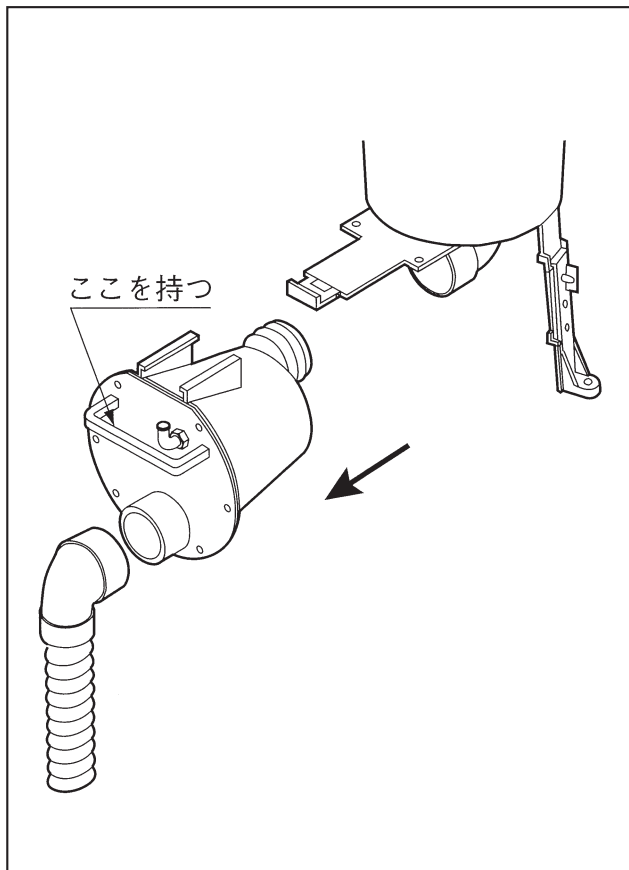
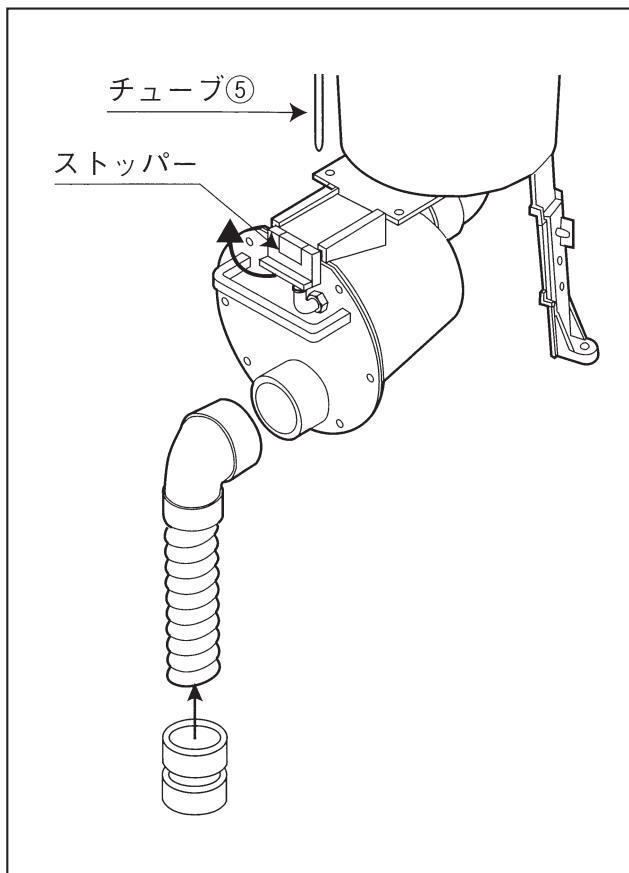
清掃後、逆の手順で上蓋④、リード線コネクタ⑧、チューブ⑤、金網①、エルボを取り付けます。

クリップ⑭をしめます。

⚠ 注意

- 清掃後は、コネクタ⑧、チューブ⑤、金網①を付け忘れない。
- ユニット側にてサクションの吸引を確認。

5. 補圧タンクの交換



ヘッドロのつまり等により、機能を十分に発揮できなくなることがあります。

⚠ 注意

- 補圧タンクにヘッドロがたまったら補圧タンクを交換する。
- 必ずブロワの電源（ブレーカ）を切る。
- 当社操作盤、またはブロワの電源ランプが消えているのを確認。
- 分離器および補圧タンク内の水が排水されたことを確認。
- グローブを必ず着用。
- バケツとぞうきんを用意（補圧タンクを外したあと、水が垂れる場合があります）。
- 補圧タンクは医療廃棄物として処分する。

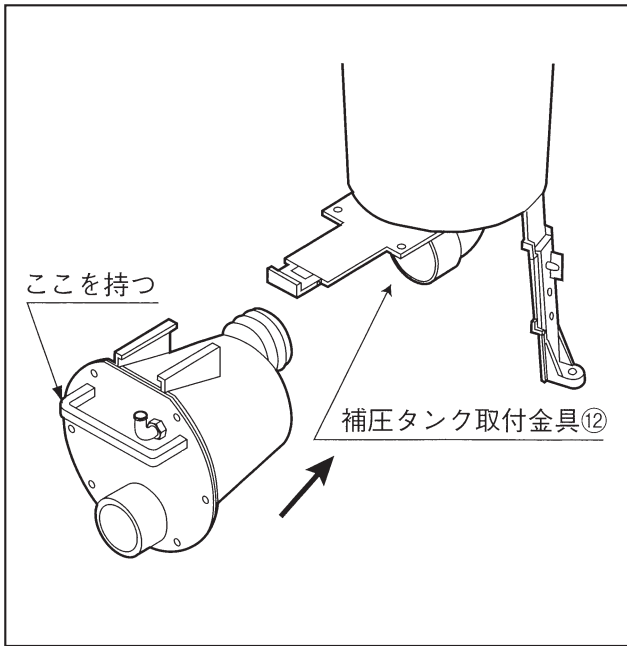
5-1. 補圧タンクの交換

チューブ⑤を外します。

ストッパーを上方向に移動します（ロック解除）。

排水フレキホース⑬を防臭ソケット（排水管）から外します。

補圧タンク⑩を引き出します。

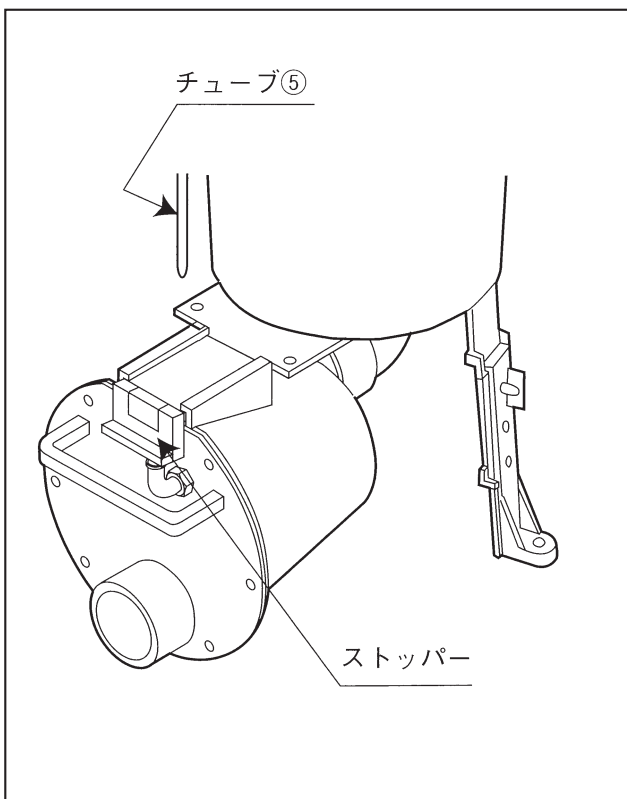


補圧タンク⑩に排水フレキホース⑬を接続します。

⚠ 注意

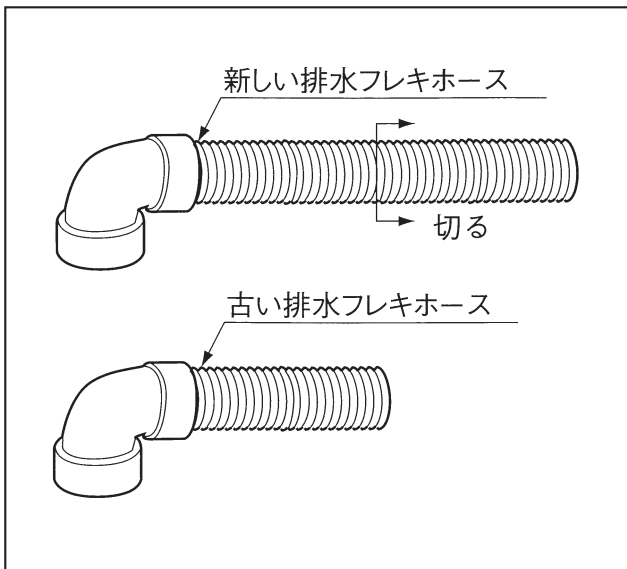
- 補圧タンク⑩と補圧タンク取付金具⑫接合部より水漏れのないこと。

補圧タンク⑩を取り付けます。

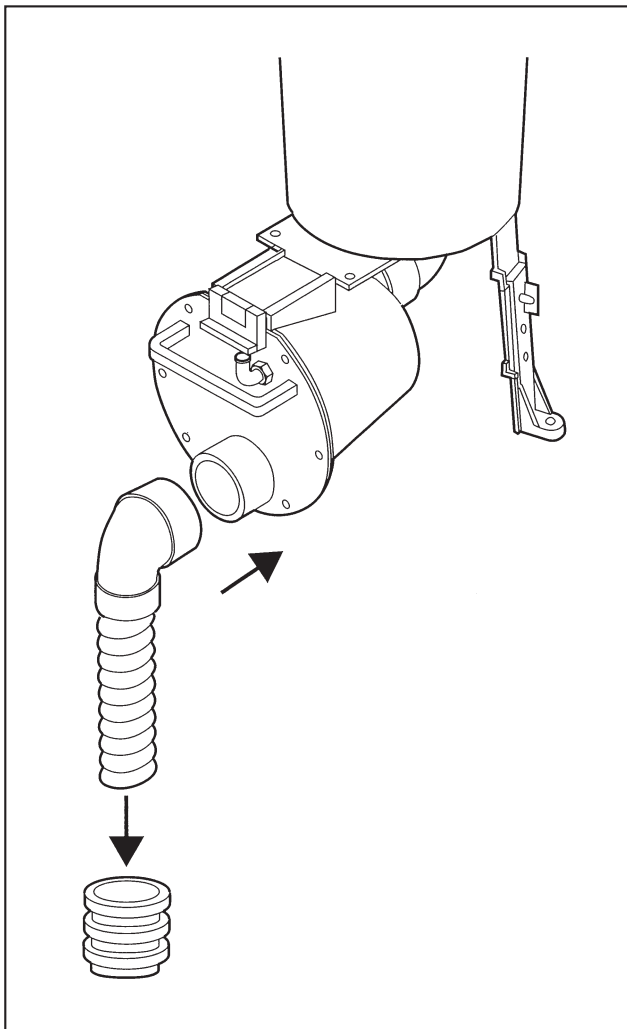


チューブ⑤を取り付けます。
(引っぱっても抜けないこと)

ストッパーを下方方向に移動する。(ロックする)



新しい排水フレキホースを切ります。
(古い排水フレキホースの長さを参考)

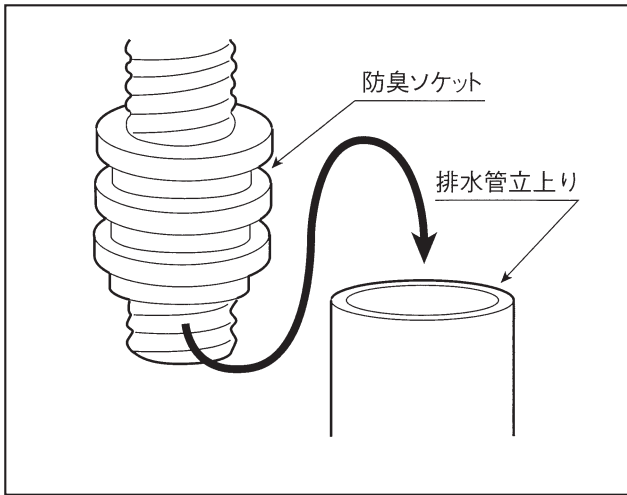


補圧タンク⑩に排水フレキホース⑬を接続します。

排水フレキホース⑬を防臭ソケット (排水管) に差し込みます。

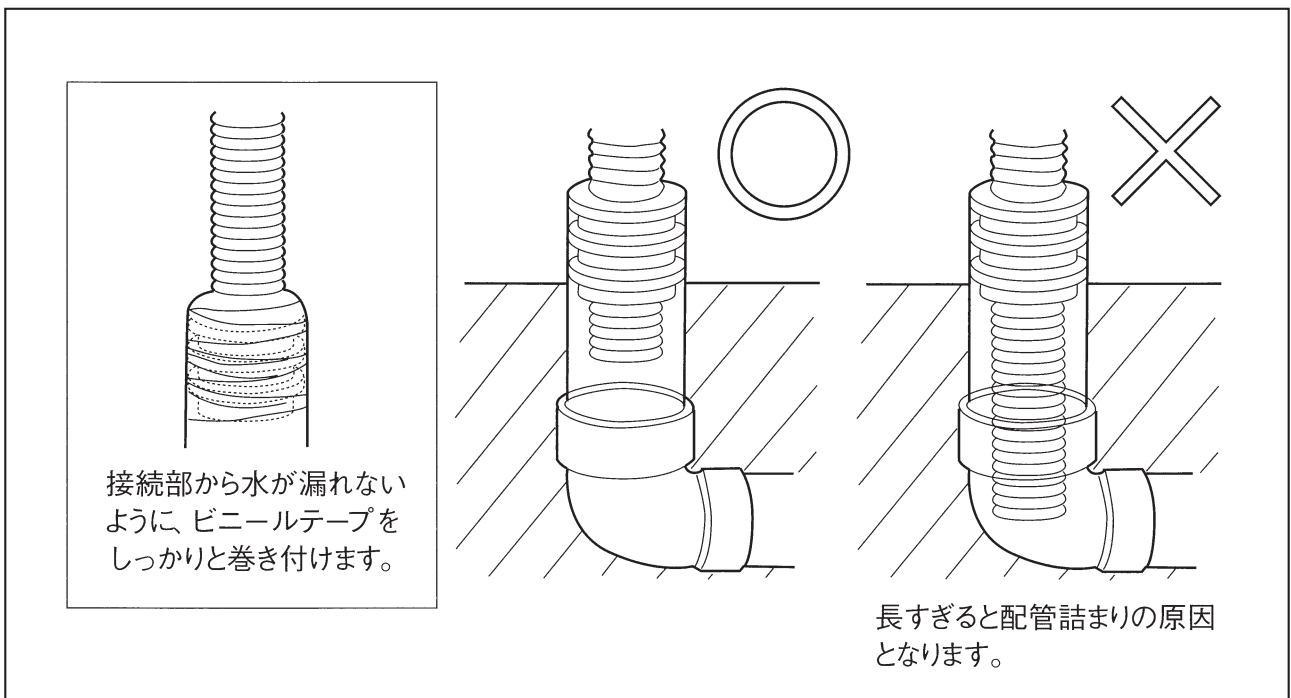
⚠ 注意

- 補圧タンク⑩とエルボ⑬接合部より水漏れのないこと。



排水管に防臭ソケットを取り付けた排水フレキホース⑬を差し込みます。

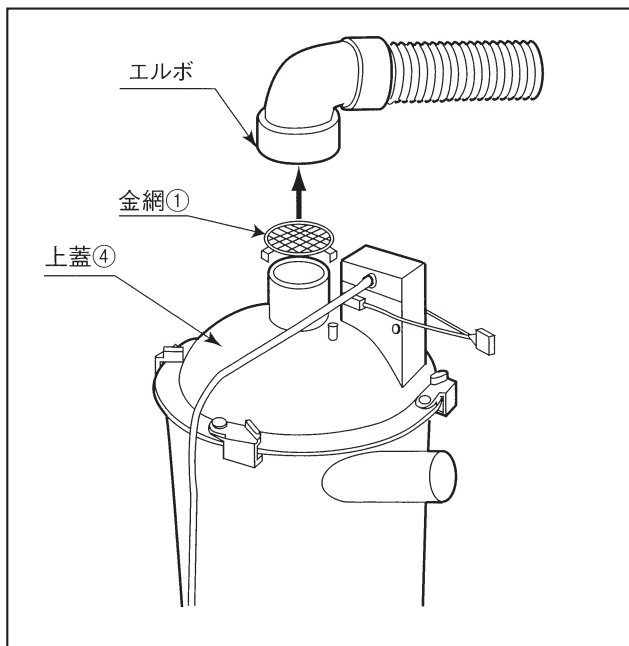
排水フレキホース⑬は、防臭ソケットと共に確実に差し込んでください。水漏れを防ぐため、下図の要領で差し込む長さを調整してください。



⚠ 注意

- 排水管内の排水フレキホース⑬が長すぎると、詰まり・水漏れの原因になります。

6. 「故障かな？」と思った時は

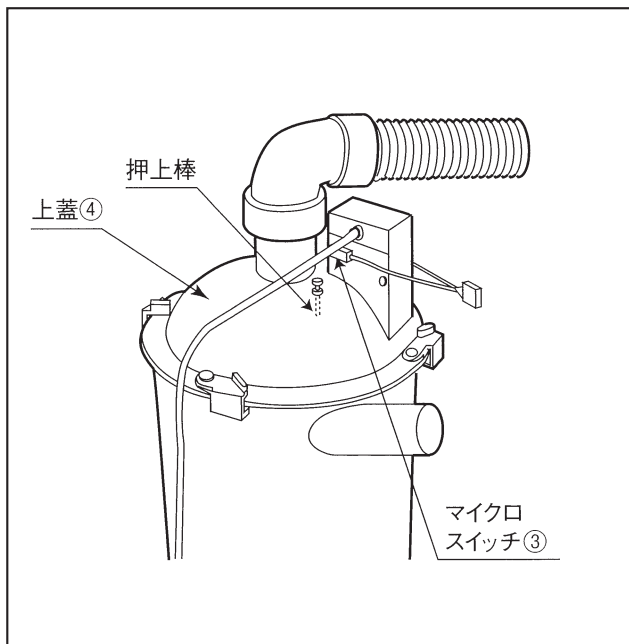


6-1. サクションの吸引が弱い時

- 金網①が目詰まりしていませんか？
目詰まりしている場合は金網①を清掃。

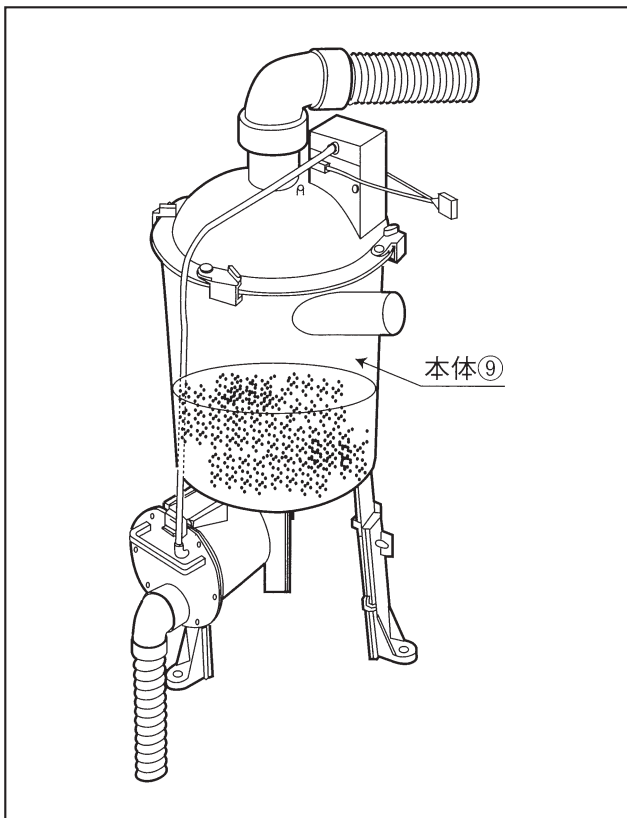
⚠ 注意

- 吸引漏れのないことを確認。



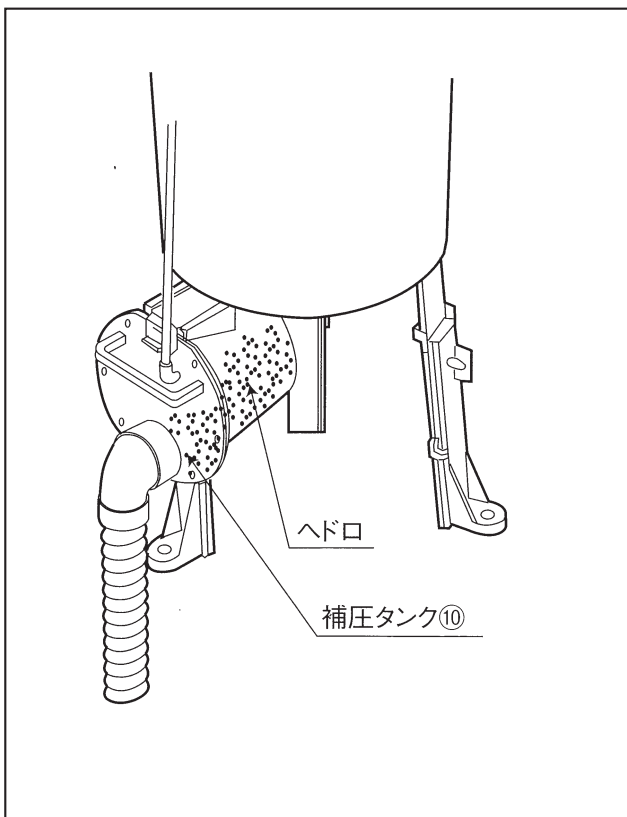
6-2. サクションが吸引しない時

- オーバーフロー検知用マイクロスイッチ③の押上棒が、上がっていませんか？
上がっている場合は指で下げ（下がっている状態が正常）、押上棒の付いている穴を清掃。



本体

- 分離器本体に水、ヘドロなどが溜まっていますか？
溜まっている場合は本体を清掃。



補圧タンク

- 補圧タンク⑩にヘドロなどが溜まっていますか？
溜まっている場合は補圧タンク⑩を交換。

補圧タンク⑩の交換方法は、本取扱説明書9ページ「補圧タンクの交換方法」を参照。

ご不明な点がございましたら、当社までご連絡ください。

7. 日常の手入れの仕方

診療終了後に、サクシヨクリーナーで配管内の清掃をしてください。

8. 消耗品

補圧タンク

9. アフターサービス

- 修理等のお問い合わせは、購入先または当社までご連絡ください。

歯科用セントラルサクシオンシステムの専門メーカー



URL : <http://www.tokyogiken.com> E-mail : TG@tokyogiken.com

本 社 : 〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-25-13
TEL : 03-3703-5581(代) FAX : 03-3705-1760
大 阪 支 店 : 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町59-5
TEL : 06-6368-8877 FAX : 06-6368-8876
仙 台 営 業 所 : 〒981-3112 仙台市泉区八乙女4-10-4
TEL : 022-371-9651 FAX : 022-371-9653
名 古 屋 営 業 所 : 〒465-0007 名古屋市名東区香坂1001
TEL : 052-776-3355 FAX : 052-776-3356
福 岡 営 業 所 : 〒812-0015 福岡市博多区山王1-15-7
TEL : 092-411-0377 FAX : 092-411-0376
横 浜 工 場 : 〒224-0023 横浜市都筑区東山田4-42-37

※仕様は予告なく変更する場合がございます。

TGYA1-01V-15001C
VP51-11-K046B